

【オリコンサルグローバル社員が登壇 コンゴでの事例報告】



コンゴでの事例報告

オリコンサルグロ

ーバル社員が登壇

オリエンタルコンサルタンツグローバルプランニング事業部交通計画部の津村優磨氏が、土木学会コンサルタント委員会主催の土木技術者実践論文集研究発表会に登壇し、開発途上国の都市におけるタクティカル・アーバニズムの可能性について報告した。写真。

同発表会は、年に1度開催され、土木分野の実務を担う

コンサルタントや研究者らが具体的な実践事例や成果を共有する。

津村氏の報告は「開発途上国の都市における交通課題に対応したタクティカル・アーバニズムの実践とその可能性」がテーマ。タクティカル・アーバニズムは、地域主体の短期的なアクションを公共空間に長期展開して改善につなげようという試みで、喫緊の交通課題を抱える途上国では実践例が少ない。

発表では、同社がJV幹事会社として従事している「コンゴ民主共和国キンシャサ市都市交通マスタープラン（PDTK）実施促進プロジェクト」の一環で実施したパイロットプロジェクトの成果と得られた教訓、開発途上国が抱える交通課題に対応したタクティカル・アーバニズムの可能性などについて報告した。